

# 会 議 録

## 1 会議名

令和5年度 第6回中郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）報告（公開）

- ・上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について（通知）
- ・乗合タクシー【関山ルート】の代替え運行について

### （2）協議（公開）

- ・自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
- ・視察研修について

### （3）その他（公開）

## 3 開催日時

令和5年9月25日（月） 午後6時30分から午後8時15分まで

## 4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：竹内靖彦（会長）、高橋京子（副会長）、荒川清尊、漆間和美、高橋達也、竹内昭彦、宮川昇藏、陸川陽一（欠席4人）
- ・事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、加藤次長（総務・地域振興グループ長事務取扱）、宮尾市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長併任）、桐山地域振興班長、津島地域振興班主事、恩田総務班長、早川税・市民生活班長、高橋福祉班長、野坂教育・文化班長（以下、グループ長はG長と表記。）

## 8 発言の内容（要旨）

### 【桐山班長】

会議の開会を宣言。

上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

### 【竹内（靖）会長】

会議録確認を荒川清尊委員と漆間和美委員に依頼。

報告事項（1）上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について、事務局に説明を求める。

### 【桐山班長】

資料「上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について（通知）」を基に説明。

### 【竹内（靖）会長】

この件について意見あるか。（意見なし）

報告事項（2）乗合タクシー【関山ルート】の代替え運行について、事務局に説明を求める。

### 【桐山班長】

突然の報告となってしまう、申し訳ない。現在、中郷区の乗合タクシーは、関山ルートを新井タクシーが、岡沢ルートをアイエムタクシーが運行している。市と運行事業者は 10 月から翌年の 9 月までを補助年度とし、協定書を締結している。この度、関山ルートを運行している新井タクシーから運転手の確保が困難であること、燃料費の高騰、車両維持管理が困難であることなど、厳しい経営環境であることを理由に令和 5 年 9 月末で乗合タクシーの運行を辞める申し出があった。関山ルートは主に通院の移動手段として利用されており、冬期間は通学利用もあることから、中郷区において欠かすことのできない公共交通であるとし、関山ルートの維持について、妙高市、新井タクシーと協議・検討してきたが、継続は困難との結論に達し、10 月 1 日から市が代替え運行をすることにした。実際の運行は 10 月 2 日からとなる。

非公開資料「至急・重要なお知らせ」を基に説明。代替え運行による変更点は 4 点。1 点目は、予約連絡先、予約受付時間が変わる。これまでは、始発時刻の 1 時間前まで予約受け付けが可能だったが、全て前日までの予約が必要になる。2 点目は、関山地区への運行を廃止し、新井地区への運行経路が変わる。変更後の運行経路は、藤沢、板橋を通り、小出雲経由で新井地区へ行くことになる。これまでは麻芋田を通り、姫川原経由で運行していた。3 点目は、全便予約運行便になる。これ

まで、午前・午後各 1 便は定時便で運行を行っていたが、この 2 便を含め全ての便が予約運行便となる。4 点目は、運行事業者が市となる。車両は公用車となり、運転手は会計年度任用職員を雇用する。運賃は、道路運送法の規定により市が負担する。以上 4 点の変更はあるが、稲荷山から新井地区までの運行をこれまでと同じ時間帯、同じ便数で運行を継続する。

市による代替え運行は、次の運行事業者が決まるまでの暫定運行とし、他の運行事業者との協議を進めているところである。

地域住民への周知は、9 月 26 日に関山ルート沿線の町内会の全世帯へ、町内会長を経由して資料のような案内チラシを配布し、沿線以外の町内会には回覧文書を配布する予定。

#### 【竹内（靖）会長】

前日までの予約受付が総合事務所となり、職員の負担が増えてしまったり、利用者にとってさらに利用しづらくなってしまったりしないか懸念される。

厳しい経営環境となっているので、いつかはこうなってしまうのではないかと私も予想していたことではあるが、新井タクシーが厳しいのであればアイエムタクシーも厳しいのではないかと思う。何年か後には互助による運行が見込まれるが、不安もありつつ、新しい課題に転換していく必要があると考えている。

代替え運行は次の運行事業者が決まるまでの暫定とのことだが、何社か検討しているということか。

#### 【桐山班長】

現時点でどこの事業者かはお伝え出来ないが、11 月 1 日から事業者による運行に移れるよう協議を進めている。

#### 【高橋（達）委員】

定時運行便がなくなるとのことだが、時間の変更はないのか。

#### 【桐山班長】

時間帯と便数の変更はない。

#### 【高橋（達）委員】

冬には中学生の通学利用もあると思うので、冬までに次の運行事業者が見つかると思う。町内会に周知を徹底していただく必要があるので、よくお願いしてもらいたい。

#### 【竹内（靖）会長】

利用者も多くはないので苦情の発生にはならないと思うが、混乱が起きないように委員の皆さんにも配慮をお願いしたい。

### 【高橋（達）委員】

片貝や稲荷山の関山駅を利用していた人にとっては、二本木駅に行かなければいけなくなり不便になってしまうので、説明をうまくしていただきたい。

### 【竹内（靖）会長】

お年寄りには案内チラシが行き届かないことも考えられるため、丁寧にやっていただきたい。我々も聞かれれば分かる範囲で応対したいと思う。

### 【桐山班長】

高齢者への対応を一番心配している。定時運行便に乗っていた人たちがこれまで通り予約をせず待っていることも想定されるので、出来る範囲でフォローしたいと考えている。

### 【竹内（靖）会長】

この件については総合事務所と一緒にできる限り協力しながらやっていきたいと思う。運行事業者に変化があったら瞬時に連絡いただきたい。

協議に移る。自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について、協議を続けてきているところだが、2つの事業に分けて令和6年度地域独自の予算に提案するという事で前回までの協議が進んでいる。1つ目の今年度の継続事業となる「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿検証事業」について事務局に説明を求める。

### 【桐山班長】

非公開資料 No1 を基に説明。

### 【竹内（靖）会長】

（中郷区さとまる学校の理事長の立場で）今年度中郷区さとまる学校が委託を受けてやっているが、乗った人からはすごく良かったと好評の声をいただくが、目的がツアーに参加してもらうことなのか乗合タクシーに慣れることなのか、何を目指すべきなのか運営側としても分からなくなっている。

近い将来、互助による公共交通の運行をやらなければならない、正副会長の事前打ち合わせをした際に、令和6年度は互助による運行を見据えて取り組んだ方が良いのではないかという話になった。実際に公共交通を利用しているのがどんな方で、どんなことを望んでいるのかを検証しながらやっていく方が今後につながると考えている。内容や取り組みの形態について皆さんから意見をいただきたい。

### 【加藤次長】

この地域独自の予算の提案内容は、自主的審議の中で皆さんから出た意見をベースとしてまとめている。全体をまとめる中で皆さんからの意見では補えない部分は、事務局が現場のイメージをしながら肉付けをしているため、皆さんから、自

分のイメージと異なっている点や、もう少し踏み込んだ方がいいのではないかと  
というような視点で確認していただきたい。

**【高橋（達）委員】**

企画運行については、今年度の内容が充実していくという理解をした。リクエスト運行についても、今後の協議を通じてもう少し内容を詰め、企画運営業務を受託する住民組織との連携も取りながら決めていく必要がある。リクエスト運行という内容だけでは、まだ見えない部分もあるように感じる。

気になっている点があるのだが、この事業は継続という理由で昨年度より減額となっているのか。それに関係なく減額となっているのか。リクエスト運行をやるのにあたって、この予算でいいのか。

**【桐山班長】**

今年度の事業と比較して、予算に関係して変更になる部分は実施回数である。継続事業であるため減額となった部分はない。今年度は年間 20 回以上実施することとしているが、次年度の事務局案では、企画運行を 6 回、リクエスト運行を 10 回の計 16 回の実施としているため、事業費が減っている。今回の協議で、それでは実施回数が少ないということになれば、その分を上乗せした要求になる。

**【高橋（達）委員】**

要求額の変更は 10 月を過ぎても変更は可能なのか。

**【桐山班長】**

金額の増減については、本日が最後の協議の場となる。実施回数が金額を増減させる大きな要素になるため、それについて本日の協議で決めていただきたい。

**【高橋（達）委員】**

心配だったのが、継続事業の場合 2 年目は減額されるという内容だったと思っており、その影響で運行回数が 16 回になったのかと思った。他の事業と絡めた運行の仕方もあると考え、質問した。

**【桐山班長】**

減額について説明不足だった部分を補足する。この事業は実施者が市であり、補助事業ではないため、継続による減額はない事業になる。補助事業の場合に、補助率の経過処置がある。

**【竹内（靖）会長】**

（中郷区さとまる学校の理事長の立場で）受託団体として企画をやっていて、回数は事務局案が精いっぱいだと感じている。あまり増やしても人的負担が大きくなってしまう。

リクエスト運行は元々私がイメージしていたものに近いと感じている。ちょっとしたお買い物など日常的に利用してもらいたいイメージでいた。土日の実施を想定しているが、土曜日は駅前商店街が開いているが日曜日は休業していることを考慮すれば区外へ出てよいのかといった点を確認したうえでリクエスト運行を組んでいかなければならない。

利用者には事前登録をしていただくことになるが、ほとんどが高齢者になるため、丁寧にやっていく必要がある。我々もそのイメージを共有して提案事業にまともにおかないと実施が難しくなる。

細かい予算については、絶対必要という予算があれば組み込むべきだと思うが、ある程度事務局に一任していくしかないと思っている。

まずは、目的・概要に伴うやり方やシステムがこれでいいのか、改善すべき点など意見を出していただきたい。

#### 【宮川委員】

リクエスト運行の利用者はどのように集めるか。

#### 【竹内（靖）会長】

中郷区さとまる学校では、高齢者を対象としたいきいきサロンをやっている。そこに参加している高齢者も対象に、実際今買い物はどうしているのかなど、もう少しリサーチしていかなければならない。やみくもに行きたくもない所に連れて行くのは需要と供給が合わない。

できるだけ中郷区内で、先ほども話した通り土曜日の駅前商店街など日常的な利用につなげることが出来れば、行きたい人もいると考えている。

#### 【陸川（陽）委員】

リクエスト運行の事前登録について、乗合タクシーに慣れてもらうというところが大切だと思う。今回できるかどうかは別として、登録時に例えば月額1000円を事前に払ってもらってはどうか。サブスクのような使い方ができれば、乗ってもらう機会も増えるのではないかと思う。

#### 【竹内（靖）会長】

その意見には私も賛成である。しっかりと会員登録して、利用者とのやりとりも含めて会としては必要だと思う。ただ、高齢者が中心になるため、その点が不安だが、お互いの価値を高めるという意味でも必要になってくると思う。

#### 【高橋（京）副会長】

必要とする人が必要な時に乗れるということで、方向としてはとてもいいと思う。事前登録が、どのくらいきちんと出来るかという点が重要である。いきいきサロンに来ていらっしゃる方は、そもそも外へ出ることが億劫ではない人たちで、

いきいきサロンに来ない人たちにも需要はあると思っている。どのように事前登録をする人のニーズを拾い上げるかが、1番の問題ではないか。事業を知っていて登録しないのと、事業を知らないために登録しないのでは大きく違う。登録者側に不公平さを感じさせてしまってはいけないと思う。

#### 【竹内（靖）会長】

今年度の事業も最初は参加者が1人、2人から始まり、ツアー参加者からの口コミで増えていった。次年度の事前登録者にもこのような増え方を期待するが、高橋（京）副会長から言われたような不公平感への対応は、私は町内会から周知してもらうことをイメージしている。町内会に事業を理解してもらうことが大事だと思う。町内会に協力していただいて、臨むのが良いのではないかと。

#### 【荒川委員】

（私が所属する）稲荷山町内会を想定すると、難しいと思っている。どのような人を対象とするか。今年度の事業に稲荷山町内会からの参加者がいたのか私は把握していない。いれば、その人から感想を聞いた他の人が参加する可能性もあるが、1人も参加していなかったということになると仲間意識もなくなってしまうので、誰か参加者がいれば有難いと思う。

#### 【漆間委員】

（私が所属する）福崎町内会も高齢者が多く、利用者は自分の車を持っていない高齢者になると思うが、登録のメリットが何なのか。リクエスト運行の運行例を高齢者が理解できるように案内すれば、納得して登録料を納めていただけるのではないかと。登録料が増えれば運行方法も変わるのではないかと考える。

#### 【竹内（靖）会長】

南部地区の方もいきいきサロンを利用している。高齢者の方に事業の情報を自分から掴むように促すのは無理があるが、高齢者がしっかりと登録するメリットを理解できる説明と企画力がプラスされるといいものになると思った。町内会への周知が難しいというところもあると思うが、それを言ってしまうと何もできないため、とりあえずこの内容でやるのかやらないのかを決め、やるのであれば、町内をあげて区全体でやるべき事業として進めていきたい。

#### 【竹内（昭）委員】

リクエスト運行はいい内容だと思っている。周知の仕方について、最初は、ある程度全体に周知し、事前登録の周知は、今後も協議を続けて決めていくしかないと思っている。本当に必要としている人がどれだけいて、どういう風に活用しようとしているかを把握することが大事である。まずこの事業を進めることとし、今後具体的な内容の協議を続けていったら良い。

#### 【竹内（靖）会長】

公共交通の互助での運行が目の前に迫っている状況の今、考えを変えていかないといけない。実際に互助による運行になって1から運行方法を模索するのは厳しい。この事業をチャンスとし、まずは令和6年度の地域独自の予算でやってみて、検証しながら、本格的な互助の運行へのきっかけを、掴んでいかないと良いスタートをきれない。

二本木駅の喫茶店さとまる一むに來ている人に話を聞くと、リクエスト運行のような運行を望んでいる。5年後には免許を返納してしまうため、対策を考えてほしいと話す方もいる。今困っている人は少ないかもしれないが、今後を見据えた事業としてやるべきだと思っている。もう少し踏み込んだ企画を入れながら内容を仕上げたいと思う。

#### 【桐山班長】

予算要求スケジュールがあるため、今日の協議の内容がこの事業の要求金額につながるが、実施回数はこれでよいのか、内容がこれでよいのか。(第2次上越市総合公共交通計画・後期再編計画案に基づき)令和7年4月には互助による運行に移らなければならないとなった際に、今回の事業結果を基に、互助による運行案の策定につなげていきたいと思っている。そのような検証をするための、事業提案になればいいなと思っている。本当に移動手段に困っている人をどうやって集め、その人たちは本当にどこに行きたいのかという検証を繰り返すことで、地域的な課題の解決方法が見えてくると考えている。

#### 【竹内(靖)会長】

ここで「やる」というスタートを切り、詳しいことについては委員改選までの数か月間このメンバーで詰めていき、令和6年度に備えていくこととする。

予算面について、事務局に一任で良いのでないかと話もしたが、それでどうか。会費を集めると収入が上がるが、会費の使い方や、移動範囲を区内に止めるのかどうか、その辺について整理はつくか。

#### 【桐山班長】

会費については、試行としてやり、今後の運行に活かすこととするので、制度として取り組まなくても良いと思う。会費を集めるよりも、住民の意見を多く聞けるように人を集めていきたいと思う。行き先については、整理は必要だが、中郷区外に出ることもあり得ると想定している。利用者が、自力で移動できる手段がない状態でどこに行きたいのか。今も病院や買い物はおそらく妙高市新井地区や関山地区が主になっている。移動手段がない人が行きたいところに行けることを目指すにあたっては、区外に出ることもあり得る。

#### 【加藤次長】

事前登録制を採用したリクエスト運行をやるとなると、どういうお得感があるのか、メニューがあるのかを事前に示すことは大事なことだと思っている。リク

エスト運行は月 1 回程度で土日限定の運行のため、基本は買い物での利用だと考え、「5 月は母の日の買い物」や、「お盆の買い出し」といった民間企業が季節を捉えて商いをやっている点に着目し、購買意欲や外に出る意欲を引き出せるように最初に示したうえで会員を募る、最終的には互助による運行に活かせたらいいなという話を担当レベルでした。具体的なイメージも膨らませながら、どう詰めていくかについては、今後も事務局も知恵を出していくが、皆さんからも引き続きアイデアをいただきたいと思っている。

#### 【竹内（靖）会長】

お年寄りもワクワクするような企画につなげられるように、また、会員になってもらうことが中郷区の住みやすさをアピールできる場所につなげるのもメリットの 1 つになる。

お年寄りばかりじゃなく、子供たちも利用できるように企画を入れながらやりたいと思う。

これをベースに進めていくこととする。

出席委員は今日の協議結果をもって自分の中で整理していただき、欠席委員にも顔を合わせて話をする。紙を渡して結果だけを伝えると地域独自の予算の良さが消えてしまう。自分たちがやろうとしていることに、気持ちや魂を入れていかないと、事業実施のハードルが高くなってしまう。委員改選により新しい委員が入ったとしても、足並みを揃えていくうえで大事なことだと思うため、私も参加するが、事務局で日程調整してほしい。他の委員も都合がつけば参加していただきたい。

#### 【高橋（達）委員】

地域協議会の自主的審議事項の項目から地域独自の予算に提案するため、欠席委員への説明は徹底していくべきだと思う。資料だけ貰っても内容が伝わらないと思う。

#### 【竹内（靖）会長】

2 つ目の提案事業「子どものい〜場所開設事業」について事務局に説明を求める。

#### 【桐山班長】

非公開資料 No2 を基に説明。

事務局案をまとめたが、子どもの見守り役の必要性と事業実施者について決めかねたため、協議していただきたい。

#### 【竹内（靖）会長】

子どもの居場所をテーマに協議を重ねたり、座談会を行ったりして、我々が得た情報を形にするにはどうしたらいいかという視点で、この事業案がまとめられ

ている。前回の地域協議会でも、我々がやろうとしていることは託児所ではないという話が出たが、中郷区の特徴である「地域の子どもは地域で育てる」という原点に帰り、子どもの居場所をしっかりと見ようじゃないかということからまとめたものである。

子どもの見守りについて、ただ見守るのではなく、区内で活動する団体に実施日7回のうち1回は担当してもらい、その開設場所で、子どもたちと一緒に何かできるのもいいと考えた。観光協会とは、二本木駅の座敷で話をしたり、勉強をしたりするのもできるという話をした。各団体の担当が1回ずつであれば、負担軽減にもなり、各団体の得意分野を子どもたちに伝授できるいい機会にもなる。ただ、どうしても中心となって事業をコーディネートする団体は必要になるため、どこにやってもらったらよいか協議をしたい。

(中郷区さとまる学校の理事長の立場で)中郷区さとまる学校が今年度実施した別の地域独自の予算事業では、小学生40~50人の参加があった。令和6年度の地域独自の予算提案では、8月に5回と12月のクリスマス会の計6回の実施を提案している。その点も踏まえながら、この事業はどういう日に開催していくかについても皆さんから意見を聞きたい。

実施日の事務局案である比較的下校時間が早い日の日数に根拠はあるか。

#### 【桐山班長】

今年度の中郷小学校の予定表を見て、給食を食べずに下校する日を数えたら年間10回程度であった。給食を食べない日に実施した場合、昼食はどうするかという課題があるため、給食後一斉下校する日に設定すると実現性が高いのではないかと考えている。

#### 【竹内(靖)会長】

事務局の説明の通り、計画には昼食を食べるシチュエーションはない。

保護者からは送迎があると有難いという意見もあるが、安全面や保護者不在などリスクがあるため、保護者から迎えに来てもらう案になっている。

#### 【陸川(陽)委員】

放課後児童クラブとの住み分けが出来ていればいいと思う。

昔は子どもだけで遊んでおり、お兄さん、お姉さんがいれば良いのではないかも思うが、事故が起きて困るため見守りの大人がいてもいいのではないか。

#### 【高橋(京)副会長】

預かり時間の設定は何時から何時にするのか。親の迎えが1番安全であるが、その親が迎えに来ることが出来る時間と子どもを預かっている時間がうまく重なるかという点の解決も必要になってくると感じた。

子どもが広い場所に行き、放っておいても自分たちの力で遊びに向かって動けるような形が徐々に出来てくるとコミュニケーション能力も変わってくるだろう。下校時のためゲームも持っておらず、自分たちでなんとかしなければいけない環境になるため、その「なんとかしなければいけない」がいい方向に向かうといいなと思った。

**【桐山班長】**

事務局案は終了時間を 18 時頃と想定した。送迎するのか、迎えに来てもらうのかによって、設定時間が変わると思う。また、実施団体が活動できる時間も影響すると思う。

**【竹内（靖）会長】**

確かに 17 時に設定しても保護者は迎えに来ることが出来ない。1 回 1 回違う団体が担当するとしても、それを請け負う団体がちゃんとあるのかなのか、そこも心配である。

**【竹内（昭）委員】**

（さとまるスポーツクラブの代表の立場で）1 回担当する程度であれば、やり方はいくらでもあるので出来ると思う。目の届く範囲で遊んでくれていればいいかなと思っているので、そういうのであればいくらでも出来ると思う。

**【竹内（靖）会長】**

そういう前向きな意見は有難い。担当回数が 1 回であれば、なんとか進められそうであると感じた。

コーディネート団体が、地域の団体と一緒に子供たちの居場所を提供できるようにになれば、成果につながっていく。

**【漆間委員】**

見守り体制が心配だ。地域協議会や市が関わるのであれば、見守り体制をしっかりしていかなければならない。

**【桐山班長】**

事務局で整理した児童クラブとの住み分けは、児童クラブは平日の毎日有料で開設しているのに対し、この事業では無料で月 1 回程度の開設とする点と、子どもが自宅に一人である状況に親が困って預けるものではなく、子どもたちが友達と会えずに時間を持て余している状況を解決する目的で開設する点で区別をしている。

**【高橋（達）委員】**

事業実施に向かっていってよいと思う。送迎については、月 1 回程度であればその日に合わせて迎えに来てもらえるのではないかと前向きに捉え、まず実施することが大事。子どもたちのコミュニケーション能力向上も目的に入っている

が、そこも非常に大事だと思うし、親が迎えに来た時に、親同士のコミュニケーションにも繋がると、前向きに捉えてやっていく。

見守りについても、各団体が見守りを行い、各施設の管理人もいるので良い。保険については考えておく必要がある。

子ども同士が気軽に集まり、自由に活動ができる場所は非常に大切だ。大人が仕掛けるのではなく、子どもの発想で活動するのも良い教育になる。これから時間をかけて詰めていければ良い。

#### 【桐山班長】

漆間委員からの意見に関連して、市の「こどもの家」事業を改めて説明するが、町内会館が会場となり、下校後の子どもたちが集まっている。集まってくる子どもは、その町内の子どもに限っていない。見守り者は、町内会の推薦者が市と委託契約し、地域の信頼関係で成り立っている体制である。

市が中心となってやろうとすると、様々な懸念から事業が堅苦しくなってしまう。そこを解決できるのが地域だと考え、本事業提案に可能性を感じている。

#### 【竹内（靖）会長】

（中郷区さとまる学校の理事長の立場で）中郷区さとまる学校が今年度実施した別の地域独自の予算事業で小学生 50 人程度を少ないスタッフで見守ったが、地域外の人が強く注意できなかつたり、言えなかつたりした場面も、同じ地域の大人はちゃんと向き合い、ちゃんと叱ることができることを感じた。事故が起きてはいけないため、シミュレーションしながら準備していく必要があると思う。

この地域独自の予算事業提案も自主的審議事項で進めてきたことの 1 つのアクションであるためやってみたい。運営主体について、町内会への発信力をしっかり持っている中郷区まちづくり振興会に事務局から打診し、かじ取りをしてもらいたい。新しい取組だとしてしっかりと説明し、地域協議会や他の団体からも協力が得られるようにしたい。

#### 【宮川委員】

地域のことや今後のことを考えて、中郷区まちづくり振興会に依頼するのが良いと思う。中郷区の今後の動きの基礎を作らなければいけないと思うため、そのようなコーディネート団体が必要だと思う。

#### 【桐山班長】

事務局から中郷区まちづくり振興会に打診してみる。

見守りについて、各団体が協力してくれる体制が目指す姿なのだろうと思うが、毎回その団体が活動内容を企画する必要はないと考える。企画もやるとなると、団体の負担になり、事業が続かない可能性もある。例えば各団体の通常の活動の中の

傍で見守っててもらおうなど、最初からその日にやることを用意するのではなく、「こんな遊びもできるよ」といった補助をする程度にしていけると良い。

**【高橋（京）副会長】**

確認だが、予算書の人件費が3人分となっているが、それは各見守り団体の中の3人なのか、見守り者は見守り者としてきちんと確保したうえで、各団体に手伝っていただくというイメージのどちらなのか。

**【桐山班長】**

どちらでも想定した3人である。見守りができる人を募集しても、いたらそれでいいと思うが、なかなかやれる人はいないと思っている。団体に担当した時にも支払えるようにしておき、その団体の活動費として活用できたら良いと考える。

**【竹内（靖）会長】**

この事業に関しても、おおむねこの内容で進めるとし、細かい内容はまた協議していく。

**【桐山班長】**

この居場所に集まってくる子どもの人数はどの程度を想定するか。中郷区さとまる学校がやったような30人以上の規模となると考え方を変えなければいけないと思うが、皆さんの協議を聞いている中では10人以下の想定ということでよいか。

**【竹内（靖）会長】**

昼食も絡まず送迎を保護者に依頼とするため、私も10人ぐらいかと思う。

周知するときには、一緒に遊ぶこともできる見守り団体の周知も必要ではないか。見守り団体が企画まではしないと、何かしら用意がないと寂しいようにも感じる。

**【高橋（京）副会長】**

児童クラブに行っている子や、この時間帯に習い事をやっている子を除くとおおよその人数が拮めるのではないか。そのようにやっていくとやはり10人程度になるのではないか。

**【桐山班長】**

児童クラブに行っている子や、この時間帯に習い事をやっている子は当然そちらに行くと思うので、想定しているのは仕方なく家に1人でいるような子がちょっと充実した時間が過ごせるようになればいいと思う。その中で必要な予算を積み上げて、今回の提案とすることでよいか。

**【竹内（靖）会長】**

先ほどの「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿検証事業」と、この「子どものい〜場所開設事業」についての協議はここまでとする。

先ほどの繰り返しになるが、欠席委員にも説明したうえで提案書を整理していただきたい。予算金額についても、もう少し整理して仕上げていただきたい。本日の協議会終了後、資料を見直して気付いたことがあれば、事務局や私に一報いただきたい。みんなで協力して進めていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

協議事項(2) 視察研修について、前回の会議後の進捗の説明を事務局に求める。

#### 【津島主事】

前回の協議を受け、総合行政研究所に地域協議会委員の研修として意見交換的なものをできないか話をしたところ、議題等の内容によるが可能であると返答があった。

日程調整については、創造行政研究所の藤山所長は月1回程度の勤務のため参加が困難であるという回答であった。副所長を含めたその他の職員は通常勤務であるため、比較的日程調整が行いやすいとのことである。

今日の協議では、開催時期や、議題を決めていただきたい。

#### 【竹内（靖）会長】

講師については、日程調整を考慮し副所長にお願いすることとする。

テーマは、基本的にまちづくりだが、どんな議題でも対応できるのか。

#### 【津島主事】

今回の視察研修が創造行政研究所との意見交換になったきっかけが、ニューステータNo52に記載のあった「まちづくりのポイント」について話を聞きたいとの要望であったが、それで良ければそのまま進めるがどうか。

#### 【竹内（靖）会長】

それでよい。まちづくりは枠が大きいですが、講師の話の中から何かしら自分たちのヒントになることが必ずあると思うため、あまりテーマを絞り込むよりも講師に任せることとしたい。

日程は、後日連絡とする。

まちづくりの議題となるので、主な地域の活動団体にも声がけをして一緒に話を聞いたかどうかという話も出たが、それについてはどうか。人数によって会場も考慮しなければならない。

#### 【宮川委員】

出来れば各町内会長から出席してもらおうと良いのではないか。

**【津島主事】**

開催時期について、委員の都合に合わせたいと思うため、どれぐらいの時期がいいのか、避けてほしい日時があれば事前に伺いたい。

**【竹内（靖）会長】**

他の団体にも声がけすることを前提とし、皆さんが出席しやすく、準備期間を考慮すると11月～1月か。

**【高橋（達）委員】**

平日よりも土曜日や日曜日の午後などの設定の方が集まりやすいのではないかと。平日になるとどうしても開始時間を遅くしなければならない。

**【桐山班長】**

町内会長など他の団体への声がけは創造行政研究所ともう1度相談とさせていただきたい。時期は、例えば12月の実施などある程度決めていただいて調整したいと思う。

**【高橋（達）委員】**

未来の担い手になるような人たちも参加できるようにするのが良いと思っている。未来の担い手発掘にもつながれば良いと思う。

年内に開催出来れば良いと思う。

**【竹内（靖）会長】**

時期は12月とし、講演内容に応じた他団体への声がけについては事務局と打ち合わせとする。創造行政研究所とも相談を進めていただき、再度連絡とする。

以上で協議は終了する。その他あるか。

**【津島主事】**

配布物の紹介と令和4年度地域活動支援事業事例集完成の報告。

地域協議会だよりについて、4月の地域協議会で発行スケジュールを決めた際は、内容を自主的審議事項の進捗報告を主な記事として9月に第2号を発行することを予定した。令和6年度地域独自の予算への提案の概要が本日概ね決まったため、10月に発行したいと考えている。内容は、令和6年度地域独自の予算への提案内容と、これまでの地域協議会を振り返った活動報告としてはどうか。令和6年度地域独自の予算への提案の記事に委員からの思いを記載したい。掲載内容について、改めて編集会議を設けるか、もしこの会議で内容が決定となれば事務局で案原稿を作成し、次回の地域協議会で確認としても構わないと考えている。

**【竹内（靖）会長】**

地域協議会だよりの発行を考慮し、次回の地域協議会を 10 月 16 日（月）とする。

地域協議会だよりの原稿はある程度案を作成し、私が指名する委員 2 名からコメントを書いていただきたい。

この次の発行はいつになるか。

#### 【津島主事】

今年度は 4 回の発行を予定しており、12 月または 1 月に委員改選の内容で第 3 号、3 月に第 5 期の委員の活動のまとめを発行したいと思っている。

#### 【竹内（靖）会長】

今回は地域独自の予算事業提案の記事をメインとし、改選に向けてアピールしていく内容を残り 2 回のたよりに記載することとする。事務局中心に作成していきたい。

10 月 13 日（金）に星空観望会とたき火カフェを中郷地区公民館と中郷区さとまる学校の共催で行う。南部地区の若者にも協力してもらおう。子どもたちには、上越清里星のふるさと館から講師を呼び、星の説明をしてもらおう。これも子どもの居場所や保護者からの意見収集につながるため、都合がつけば参加していただきたい。

以上で、本日の地域協議会は終了とする。

#### 9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411（内線 165）

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

#### 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。